農林水産省登録 第17317号
NETIS登録 TH-150010-A

green technology

緑化用薬剤

植物成長調整剤

様々な植物の伸長を長期間抑制！

植物成長調整剤

グリーンフィールド®

水和剤

道　路

公園・堤とう等

鉄　道

- 様々な植物に対して、休眠期から生育初期に処理することにより、長期間の伸長を抑制します
- 特に種子発生の雑草に対して強い伸長抑制を示すため、雑草の侵入や繁殖も抑えることができます
- 継続して使用することで、抑制効果が高まります
- 雑草を枯らさず草丈の伸長を抑制するため裸地にならず、草原風の景観を維持できます
- 茎葉部のみ抑制し、根部には影響がないため、のり面の保護にも利用できます
- 日本芝及び西洋芝にも使用でき、処理後刈込を行っても効果が持続します

®登録商標

green technology

株式会社 ニチノー緑化

植物成長調整剤 グリーンフィールド®

水和剤

●成分・性状

種 類 名：フルルプリミドール水和剤
有効成分：フルルプリミドール … 50.0%
性　　状：類白色水和性粉末 60μm以下

●規格

500g×4袋、50g×20袋

●安全性

※毒劇物に相当しないものを指していう通称

	急性経口毒性(LD_{50})	急性経皮毒性(LD_{50})
〔毒性区分〕普通物※	ラット♂ 1,698mg/kg ♀ 1,972mg/kg	ウサギ♂♀ ＞ 5,000mg/kg

〔魚 毒 性〕	コ イ
	LC_{50} (96hr) 26.2mg/L

使用方法

作物名	適 用 場 所	適用雑草名	使用目的	使用時期	㎡当り使用量 薬量	㎡当り使用量 希釈水量	本剤の使用回数	使用方法	フルルプリミドールを含む農薬の総使用回数
樹木等	公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面等	一年生雑草及び多年生広葉雑草	雑草の伸長抑制	雑草発生前～発生始期	0.4～0.8g	100～300㎖	3回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に全面均一散布	3回以内

作 物 名	使用目的	使用時期	㎡当り使用量 薬量	㎡当り使用量 希釈水量	本剤の使用回数	使用方法	フルルプリミドールを含む農薬の総使用回数
日 本 芝	草丈の伸長抑制	生育初期～生育盛期	0.2～0.4g	250～300㎖	2回以内	全面均一散布	6回以内(粒剤は2回以内)
西洋芝(ベントグラス)			0.1～0.2g				8回以内(粒剤は2回以内)
西洋芝(バーミューダグラス、ブルーグラス)							2回以内

●作用機作

グリーンフィールドの有効成分であるフルルプリミドールは主に根部より吸収され、草丈伸長をつかさどる植物ホルモン（ジベレリン）の生合成を阻害し、植物の草丈の伸長を抑えます。植物により感受性が異なります。

●抑草スペクトラム

キク科	ヨモギ、ヒメムカシヨモギ、ハルジオン、ヒメジョオン、オオアレチノギク、アメリカセンダングサ、ハキダメギク、ハハコグサ、オオキンケイギク	イネ科	メヒシバ、エノコログサ、イヌビエ、スズメノカタビラ	ツユクサ科	ツユクサ、ムラサキツユクサ	オオバコ科	オオバコ
		マメ科	シロツメクサ、ヤハズソウ、ヤマハギ、ツルマメ	ナデシコ科	オランダミミナグサ、ツメクサ、ノミノフスマ	ヒルガオ科	コヒルガオ
						アカザ科	シロザ
				サクラソウ科	コナスビ	カタバミ科	カタバミ
		タデ科	イヌタデ、オオイヌタデ、イシミカワ、ヒメスイバ、ギシギシ	シソ科	シソ、ナギナタコウジュ	イグサ科	クサイ
				ゴマノハグサ科	タチイヌノフグリ、オオイヌノフグリ	ヒユ科	イヌビユ、アオビユ

●使用上のポイント

グリーンフィールドは主に根部より吸収され、茎の先端部に移行して作用します。したがって本剤を確実に根域到達させるためにも、多めの水量による散布や処理後の潅水が、より安定した効果発現を促します。

⚠ 効果・薬害等の注意

●極端な乾燥条件下での使用はさけてください。また本剤は土壌処理剤で、効果発現のため薬剤が作物及び雑草の根域に達する必要があるので、散布後にかん水することをおすすめします。かん水設備のない所では降雨前の散布をおすすめします。
●本剤は対象外の周辺植物にも影響を及ぼすので、かからないように注意してください。
●本剤は他の作物を植え付ける予定のある土地では使用しないでください。また使用後の散布器具類は十分洗浄してください。
●本剤を芝に使用する場合は次の注意を守ってください。
1)本剤の使用により、葉の色や形が変化する等の症状がみられたり、不均一な草丈抑制をもたらしたりする場合があるので、まきむらのないよう均一に散布してください。特に極端な傾斜地での使用には十分注意してください。
2)散布後効果発現までに日数を要するので、刈込直後に処理するか、効果発現まで通常どおりの刈込管理を行ってください。
3)ターフ形成前の芝生、生育が弱っている芝生、健常な芝生でも生理障害が出やすい条件の芝生には使用をさけてください。
4)本剤(及び本剤と同一の有効成分を含有する薬剤)の伸長抑制効果は、一般に使用量が多いほど効果が高くなる傾向にあるので、希望する抑制程度に合わせて所定の範囲内で使用量を決めてください。また、2回以上使用する場合は、過剰な伸長抑制効果をさけるため、2回目以降の処理は効果が切れる時期に行ってください。
●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
●水源池、養殖池などに本剤が飛散、流入しないよう十分注意してください。
●散布器具・容器の洗浄水および残りの薬液は河川などに流さないでください。容器、空袋などは環境に影響を与えないように適切に処理してください。
●本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には予備試験を行うか、または病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

⚠ 安全使用上の注意

●誤飲、誤食などに注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
●粉末が眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください(弱い刺激性)。
●粉末が皮膚に付着しないように注意してください。皮膚に付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落としてください(弱い刺激性)。
●散布の際は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業服等を着用してください。また散布液を吸い込んだり浴びないように注意してください。作業後は手足、顔等を石けんでよく洗い、うがいをしてください。
●公園、堤とう等で使用する場合は、小児や散布に関係のない者を作業現場に近づかせないでください。居住者、通行人、家畜等に被害を及ぼさないよう注意をはらってください。散布後少なくとも散布の当日は散布区域に縄囲いや立札をたてるなどして、立ち入らないよう配慮してください。
●使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。

●食べられません。　●使用前にラベルをよく読んでください。　●ラベルの記載以外には使用しないでください。
●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。　●使用後の空袋は圃場などに放置せず、廃棄物処理業者に委託する等により適切に処理してください。

取扱店

green technology
株式会社 ニチノー緑化
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-4 岡谷ビルディング6F
TEL(03)3808-2281 FAX(03)3808-2360
大阪営業所 TEL(072)727-8015
ホームページアドレス http://www.nichino-ryokka.co.jp

1612T3000

農林水産省登録
第17317号

MAP
マルチアプリケーションプログラム®
Multi Application Program®

グリーンフィールド®水和剤

春期、芝生育が活発になる頃に散布開始

グリーンフィールド 0.025～0.05g/㎡

3～4週間ごとに夏期も連用処理

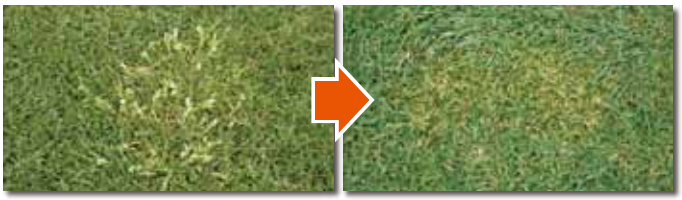
冬期休眠もしくは生育が鈍る頃の4週前まで散布

マルチアプリケーションプログラムとは?

春から秋に掛けて、定期的に少薬量の薬剤を散布する方法。

マルチアプリケーションプログラムのメリット

- ベントグラスとの薬剤感受性差を利用し、ベントグリーンに入り込んだスズメノカタビラの密度低減が期待できる。
- 芝草丈の伸長を抑制し、芝草の刈込軽減が期待できる。



- 春期は、芝が動き出した頃に散布を開始してください。
- 夏期は、芝の生育が著しく低下している場合、もしくは病虫害など極度のストレスを受けたときは散布を中止してください。
- 秋期は、霜の降りる1ヶ月前に散布を中止してください。

®：は日本農薬株式会社の登録商標。

green technology
株式会社 ニチノー緑化

ベントグラス
グリーンフィールド水和剤　マルチアプリケーションプログラム

特徴

- 芝草の刈込軽減が期待できる。
- ベントグラスとの薬剤感受性差を利用し、ベントグリーンに入り込んだスズメノカタビラの密度低減が期待できる。

●成分・性状

種 類 名：フルルプリミドール水和剤
有効成分：フルルプリミドール・・・50.0%
性　　状：類白色水和性粉末　60μm以下

●規　格：50g×20

●安全性

人畜毒性：普通物（毒劇物に相当しないものを指していう通称）

急性経口毒性（LD_{50}）	ラット　♂1,698mg/kg	♀1,972mg/kg
急性経皮毒性（LD_{50}）	ウサギ　♂♀＞5,000mg/kg	

魚 毒 性：A類相当

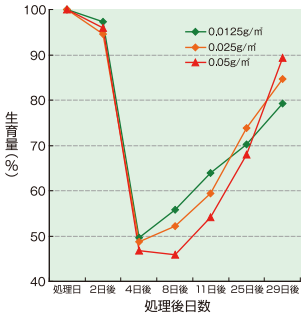
コイ LC_{50}	26.2mg/L(96hr)
オオミジンコ EC_{50}	35.3mg/L(48hr)

■適用表

はマルチアプリケーションプログラム向け登録です。

作物名	使用目的	使用量 薬量	使用量 希釈水量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルルプリミドールを含む農薬の総使用回数
日本芝	草丈の伸長抑制	0.2～0.4 g/㎡	250～300 mℓ/㎡	芝生育初期～芝生育盛期	2回以内	全面均一散布	6回以内（粒剤は2回以内）
		0.025～0.075g/㎡	100～300 mℓ/㎡		6回以内		
西洋芝（ベントグラス）		0.1～0.2 g/㎡	250～300 mℓ/㎡		2回以内		8回以内（粒剤は2回以内）
		0.0125～0.05g/㎡	100～300 mℓ/㎡		8回以内		
	スズメノカタビラ密度低減	0.025～0.05g/㎡		芝生育期（スズメノカタビラ生育期）			
西洋芝（バーミューダグラス）西洋芝（ブルーグラス）	草丈の伸長抑制	0.1～0.2 g/㎡	250～300 mℓ/㎡	芝生育初期～芝生育盛期	2回以内		2回以内

■グリーンフィールドの刈込軽減効果



- 試験機関／公益財団法人 日本植物調節剤研究協会委託ゴルフ場
- 試験圃場／茨城県Aゴルフ場
- 芝品種名／ベントグラス（ブライトン）
- 試験規模／1区19㎡×2反復
- 処 理 日／平成23年5月13日

（公益財団法人 日本植物調節剤研究協会委託試験）

■スズメノカタビラの抑制効果

試験区	使用薬量（g/㎡）	散布水量（mℓ/㎡）	スズメノカタビラ本数	抑制率（%）	薬害
無処理			26.5	100%	
グリーンフィールド水和剤	0.0125g	100mℓ	22.0	83.0%	－
	0.0125g	300mℓ	21.0	79.2%	－
	0.025g	100mℓ	19.5	73.6%	－
	0.025g	300mℓ	19.0	71.7%	±
	0.05g	100mℓ	17.0	64.2%	±

- 調 査 日／平成23年5月13日（処理39日後）
- 試験機関／東日本グリーン研究所
- 試験圃場／山梨県Bゴルフ場
- 芝品種名／ベンクロスベントグラス
- 試験規模／1区1㎡×2反復
- 処 理 日／平成23年4月4日

－：薬害なし　±：微程度（濃緑化）

- 薬 害／4月25日にやや濃緑化、5月13日（処理39日後）に回復

（公益財団法人 日本植物調節剤研究協会委託試験）

■実 例

アメリカA大学内パッティンググリーン（SePRO社提供）

試験区	薬量(g/㎡)	散布間隔	散布年
無処理			
グリーンフィールド水和剤	0.05g/㎡	3週間(5月～11月)	2006～2008

⚠ 効果・薬害等の注意

- 他剤と混用はさけてください。
- 極端な乾燥条件下での使用はさけてください。また本剤は土壌処理剤で、効果発現のため薬剤が作物及び雑草の根域に達する必要があるので、散布後にかん水することをおすすめします。かん水設備のない所では降雨前の散布をおすすめします。
- 本剤は対象外の周辺植物にも影響を及ぼすので、かからないように注意してください。
- 本剤は他の作物を植え付ける予定のある土地では使用しないでください。また使用後の散布器具類は十分洗浄してください。
- 本剤を芝に使用する場合は次の注意を守ってください。
  ①本剤の使用により、葉の色や形が変化する等の症状がみられたり、不均一な草丈抑制をもたらしたりする場合があるので、まきむらのないよう均一に散布してください。特に極端な傾斜地での使用には十分注意してください。
  ②本剤（及び本剤と同一の有効成分を含有する薬剤）の伸長抑制効果は、一般に使用量が多いほど効果が高くなる傾向にあるので、希望する抑制程度に合わせて所定の範囲内で使用量を決めてください。また、2回以上使用する場合は、過剰な伸長抑制効果をさけるため、2回目以降の処理は効果が切れる時期に行ってください。
  ③散布後効果発現までに日数を要するので、刈込直後に処理するか、効果発現まで通常どおりの刈込管理を行ってください。
  ④ターフ形成前の芝生、生育が弱っている芝生、健常な芝生でも生理障害が出やすい条件の芝生には使用をさけてください。
- ゴルフ場で使用する場合は次の注意を守ってください。
  ①日本芝で使用する場合は以下の注意を守ってください。
  ●パッティンググリーンでは使用しないでください。
  ●フェアウェイ、ティーグラウンドでは、高薬量（0.2～0.4g/㎡）散布はさけてください。
  ●ラフでは、高薬量（グリーンフィールド水和剤：0.2～0.4g/㎡、グリーンフィールド粒剤：10～20g/㎡、2回以内）もしくは低薬量（0.025～0.075g/㎡、6回以内）のいずれかの薬量のみで管理することが望しいです。
  ②西洋芝（ベントグラス）で使用する場合は以下の注意を守ってください。
  ●パッティンググリーン、フェアウェイ、ティーグラウンドで使用する場合は、高薬量（グリーンフィールド水和剤：0.1～0.2g/㎡、グリーンフィールド粒剤：5～10g/㎡、2回以内）は使用しないでください。
  ●ラフでは、高薬量（グリーンフィールド水和剤：0.1～0.2g/㎡、グリーンフィールド粒剤：5～10g/㎡、2回以内）もしくは低薬量（0.0125～0.05g/㎡、8回以内）のいずれかの薬量のみで管理することが望しいです。
  ③西洋芝（バーミューダグラス、ブルーグラス）で使用する場合は、ラフ以外では使用しないでください。
- 水源池、養殖池などに本剤が飛散、流入しないよう十分注意してください。
- 散布器具・容器の洗浄水および残りの薬液は河川などに流さないでください。容器、空袋などは環境に影響を与えないように適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には予備試験を行うか、または病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

⚠ 安全使用上の注意

- 誤飲、誤食などに注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 粉末が眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗してください（弱い刺激性）。
- 粉末が皮膚に付着しないように注意してください。皮膚に付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落としてください（弱い刺激性）。
- 散布の際は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業服等を着用してください。また散布液を吸い込んだり浴びないように注意してください。作業後は手足、顔等を石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、小児や散布に関係のない者を作業現場に近づかせないでください。居住者、通行人、家畜等に被害を及ぼさないよう注意をはらってください。散布後少なくとも散布の当日は散布区域に縄囲いや立札をたてるなどして、立ち入らないよう配慮してください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。

● 使用前にラベルをよく読んでください。　● ラベルの記載以外には使用しないでください。　● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
● 使用後の空袋は圃場などに放置せず、廃棄物処理業者に委託する等により適切に処理してください。

販売元　株式会社 ニチノー緑化　green technology

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-4 岡谷ビルディング6F
TEL（03）3808-2281　FAX（03）3808-2360
大阪営業所 TEL（072）727-8015
ホームページアドレス http://www.nichino-ryokka.co.jp

取扱店

1212T10000